

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 9 月 25 日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---|-------|-------------|
| 事業所番号 | 2170700476 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 和光会 | | |
| 事業所名 | グループホーム「ファミリーケア北方」 | | |
| 所在地 | 岐阜県本巣郡北方町柱本3丁目88番地 (電話) 058-324-0324 | | |
| 評価機関名 | NPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと | | |
| 所在地 | 各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル | | |
| 訪問調査日 | 平成20年9月16日 | 評価確定日 | 平成20年10月23日 |

【情報提供票より】 (平成 20 年 9 月 2 日 事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 15 年 4 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 3 ユニット | 利用定員数計 | 27 人 |
| 職員数 | 21 人 | 常勤 15 人, 非常勤 6 人, 常勤換算 | 20 人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|-----|-------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り | | |
| | 2 階建ての | 1 ~ | 2 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|--------------|----------------|-----------|
| 家賃(平均月額) | 35,000 円 | その他の経費(月額) | 18,000~ 円 |
| 敷金 | 有(100,000 円) | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり | | 1,167 円 |

(4) 利用者の概要 (平成 20 年 9 月 2 日 現在)

| | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 利用者人数 | 27 名 | 男性 8 名 | 女性 19 名 |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | 10 名 |
| 要介護3 | 12 名 | 要介護4 | 3 名 |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 |
| 年齢 | 平均 86 歳 | 最低 60 歳 | 最高 97 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-------------------------|
| 協力医療機関名 | 山田病院、寺田診療所、山田メディカルクリニック |
|---------|-------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

病院を母体とした総合福祉法人が経営するグループホームである。医療と介護が有機的に連携し、常に質の高いサービスとたゆまぬ発展を目指している。代表者は、医療と介護の役割りの重要性を強調しており、その思いは全職員に浸透し、「地域と共にある暮らし」の根幹となっている。また、法人内には、各種委員会が組織され、ユニット会議・リーダー会議・緊急連絡会議が定期的に行われ、ホーム運営に速やかに反映させる体制がある。さらに、地域の人々との活発な交流、法人内外での研修や学習会での人材の育成、終末期には、法人関係者と緊密な連携を取り、家族の思いを受け入れながら、高齢化社会を見据えた、生涯サービスの提供に熱意を持って取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回の改善課題であった家族への報告は、毎月個別に暮らしの様子を報告している。思いや意向については、担当者が把握して対応している。介護計画の見直しは、関係者の連携を強化している。包丁の使用においては、中止ではなく見守りで安全に対処している。 |
| 重点項目① | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 全職員は、自己評価・外部評価の意義を理解し、改善課題は、リーダー会議・ユニット会議で検討分析し、改善に向け取り組んでいる。現状に満足することなく、常に上を目指すことが、代表者の経営方針となっている。 |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 運営推進会議は、2ヶ月に1回開催され、自治会長・老人会長・民生委員・役員職員・広域連合職員・人権擁護委員・日赤奉仕団・家族代表が参加し、ホームの活動報告、今後の取り組み、認知症の理解について意見が交わされている。これまでも、子どもたちとの交流、高校生ボランティアの受け入れ、ホーム周辺の土地活用、防災協力等で取り組みの成果がある。 |
| 重点項目③ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 直接には、意見や苦情を言いにくい家族のため、顧客満足度アンケート調査を年1回行っている。調査内容には、「依頼したことが届かない」との苦情も含まれており、これらの意見・苦情は、法人内の品質保証室が受け付け、改善策を各会議で周知させ、ホームの運営に反映させている。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 自治会長・民生委員や町も地域交流に熱心な協力者となっている。地域の神輿祭りや各種イベントへの参加、土日には近所の子どもの訪問、高校生のアニマルセラピー、草引きボランティア、老人会の訪問、敷地内畑の耕作ボランティア、音楽療法士、娯楽ボランティア、ホームからの講師派遣等、積極的に地域活動や地域の人々との関係づくりを行っている。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 母体法人においては、総合福祉事業体として、崇高な理念を掲げているが、その一部門であるホームも、地域の中で、地域住民と交流しながら、家庭的で楽しい暮らしを支えることを目指した独自の理念を掲げている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念を名札の裏に入れ、常に意識できるようにし、事業所内でのミーティングや定例会議で実践の実践に向けた取り組み状況を確認しながら共有を図っている。また、理念の実践発表会も定期的開催されている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会長や民生委員の熱心な協力があり、地域の人々と交流する機会が定着している。地域の祭りや各種イベントへ参加したり、近所の子どもたちも気楽に出入りしている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 全職員は、自己評価・外部評価の意義を理解し、改善課題は、リーダー会議・ユニット会議で検討分析し、改善に向け取り組んでいる。現状に満足することなく、常に上を目指すことが、代表者の経営方針となっている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|----------------------|-----------------------------------|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 会議は2ヶ月に1回開催され、自治会長・民生委員・役場職員・広域連合職員・人権擁護委員・日赤奉仕団・家族代表が参加している。利用者状況報告、独自サービス活動報告等をテーマに討議し、運営に反映させている。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 役場担当者をホームのイベントに招いたり、運営推進会議への参加、子ども110番の受諾、介護相談員の受け入れ、包括支援センターから講演会講師の依頼を引き受けるなど、多くの場面で連携している。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 訪問した家族に見てもらえるよう、暮らし振りの写真集と行事案内や連絡事項を玄関に掲示している。また、毎月の請求書と共に、担当者が手書きの手紙により個別状況を報告している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族には、来訪時と家族会で意見を聞く機会を設けている。特に、年1回の家族アンケートでは、様々な意見・苦情が寄せられている。法人の品質保証室が窓口となり、内容を調査分析し、改善策が取られている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 法人内の人事異動が、定期的に行われているが、馴染みの関係の構築、ダメージ対策には十分に配慮している。新人は、利用者全員に紹介し、新人から挨拶をするなど、コミュニケーションづくりの指導が行われている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 事業所内外の研修に積極的に参加している。法人内には、各段階に応じた研修計画があり、実践発表会が年1回行われている。講師クラスの人材も揃っており、外部に派遣したり、職員の資格取得も積極的に支援している。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 年1回、同業者との交流する機会を設けている。同業者との交流は、他の府県にまでおよび、勤務扱いで、旅費を補助している。 | | |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居希望者には、納得できるまで、見学の機会を提供している。現入居者が、お茶の接待や会話することで、安心感を持って入居した事例もあった。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は、利用者と過ごす時間を大切に、関係作りに努めている。一緒に食材の買出しや食事の準備、公文トレーニング、広告チラシを使った岐阜城の模型作りなど、利用者と共に取り組んでいる。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者の思いをよく把握できるように、担当制を取っている。旅行に行きたい人、温泉、映画、外食、大型ショッピングモールでの買い物、観覧車に乗りたい人などがおり、家族の協力を得て支援している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人・家族の意向を確認しながら、各担当者が介護計画を作成し、ケアマネジャーが、法人内の関係部署の意見を取りまとめ、介護計画に反映させている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月毎の定期的な見直しと、状態の変化に対しては、見直し時期を担当者が判断・把握し、ユニット会議と全体会議で検討を加え、随時介護計画の見直しを行っている。その際には、本人・家族と必要な関係者とも話し合っている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 医療連携体制を活かした入退院の支援、医療処置を受けながらの生活の継続、重度化した場合、他の部署と連携し、他施設への住み替えを支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 法人の診療所から週1回の往診があり、受診する利用者が多い。かかりつけ医の受診には家族が同行しているが、やむ得ない事情があれば、ホームが送迎している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化や終末期に向けては、家族・医師・関係者と十分に話し合いながら対応している。法人の運営する他部門が、バックアップ体制を取っている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 本人の嫌がることをよく把握し、コミュニケーションに心がけている。居室には無断で入ることがないように許可を得ている。記録等の個人情報は、特定の場所で管理されている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 決められた日課はあるものの、本人のペースを尊重している。朝風呂の好きな人、散歩や食材の買出しに同行する人、得意の趣味等に熱中する人など様々な希望にそって支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食材の買出しから調理手伝い、配膳・片付け、包丁も器用に使いこなしている。職員も一緒に会話を楽しみながら食事を摂っている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴は週3回の支援を行っている。順番にこだわる利用者はいないので、タイミングを削って誘導している。季節ごとに、ゆず湯、菖蒲湯などで楽しい雰囲気づくりに努めている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人ひとりの意欲を引き出し、朝夕の新聞取り込み、掃除、洗濯たたみ、皿拭きなどの役割を担ってもらっている。公文の計算やアニマルセラピーの訪問、土日は、子どもたちとの交流が楽しみとなっている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 日常的に周辺の散歩、普段の買い物、喫茶店に行く等の支援がある。年間では、家族会合同の外出、遠足、ホテルでの食事会、イチゴ狩り、特産柿の収穫等に出かけている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関は日中鍵を掛けず、開放している。夕刻になると帰宅行動をとる人がいるので、職員の気づきと見守りを重点的に行っている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|---|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回、消防署立会いの防災訓練を実施している。中庭への非難、消火器、AEDの使用訓練も行われている。また、民生委員も参加する地域防災訓練にも参加している。 | ○ | 最も近いアパートの住民とは、相互協力についての働きかけは、行われていない。過去の大震災における隣人から人命救助された事例からしても、近隣との協力体制の構築が望まれる。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事及び水分の摂取量は記録され、全職員が確認できるようになっている。栄養バランスについては、法人の栄養士から随時指導を受けている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホーム内の空調や照明は、快適に設定されている。分り易いトイレ表示があり、手づくりの暖簾やカレンダーが掛けてあり、利用者を作った工芸品もかざってある。要所には、利用者がくつろげるソファや畳のコーナーもあり、臭いを吸収する大きめの芳香剤が各所に設置されている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には、馴染みの小物類、テレビ、額に入った証書、家族の写真、仏壇、本人の手づくり作品などが持ち込まれ、居心地よく生活できるよう配慮されている。 | | |

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。